

学道一如

発行 高校 双葉通信
小樽学生会 2023年6月28日
生徒会 第16号
第16号

特集▼小樽再発見(1)北一硝子 石造店舗、手作りガラスで 小樽の街を活気づける

小樽の街は歴史があり、運河や歴史的建造物が保存されて活かされ、観光客の人気スポットにもなっています。今の小樽はどのように発展してきたのか、そしてこれからどのように進化していくのでしょうか。小樽の街づくりに貢献されてきた方々にインタビューし、考えていくことにしました。
第一回目は小樽を代表する会社、北一硝子さんを訪ねました。

(株)北一硝子

本社 小樽市花園1丁目6-10

浅原健蔵代表取締役社長

5万点以上のオリジナルガラス製品や石油ランプを製造販売。見学工房、地酒蔵、美術館など関連店舗・館は10以上あり、三号館を基点に点在する。

小樽再発見 (1)

北一硝子三号館を訪問しました。



今回は広報課の岡田乙志さん(勤続13年、62歳、左写真)にお話を伺いました。



お客様が「来てよかった」と言ってくださるのが喜びです、と岡田さん。

石油ランプがブレイク
▼1971年に社名を浅原硝子から北一硝子に変更したのはなぜですか。

北一硝子の前身である浅原硝子は1901年に石油ランプや浮き玉の製造を始め、道内に7つの工場を持つまでになりました。時代とともに、灯はランプから電灯に変わり、浮き球もプラスチックに変わっていき、工場は閉鎖、小樽の会社だけになってしまいました。社長が交代するときに心機一転頑張ろうと、社名を変更しました。

その頃、運良く国鉄のキャンペーンがあり、列車で旅する若者が増え、カニ族(バックパッカー)が増えました。

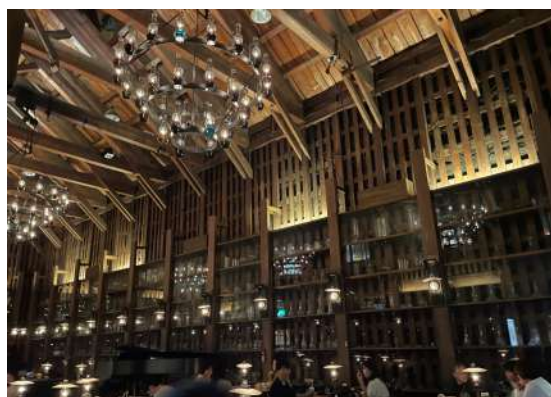


花園の北一硝子の店舗(70年代)

カー)が大勢、小樽に来るようになりしました。彼らは花園の店舗に立ち寄り、ランプやガラス製品を買っていったのですが、それが口コミで広がって、全国から客が来るようになりました。一時は5号線の道路に観光バスが連なり、渋滞になるほどだったそうです。それで、他の場所(現在の堺町、三号館、上写真)に店舗を増やすことになりました。

倉庫をリノベーション
▼三号館は古い倉庫をリノベーションしたものです。なぜそうしたのですか。

水産会社の倉庫が小樽築港に移転するので、取り壊すと聞き、歴史的な建造物を壊すのはもったいない、天井も高いので有効利用できるかと考え、買い取りました。昭和58年に三号館を店舗



ランプの灯る北一ホール

にリノベーションしました。その頃、周りに商店街があったわけではないので、失敗を案じる声もありました。その後、堺町通りに少しずつ店が増えていったのです。当社は北前船の日本遺産である、五つの倉庫を再利用し、大切に使っています。

小樽に人を招き入れる
▼小樽運河の保存や港・商店街の再開発にどのようにかわってこられたのでしょうか。

会社の方針は利益追求よりも社会奉仕、貢献です。会社が大きくなることで、人を招き入れ、小樽の街を活気づける、そのような役割を担いたいと考えています。天井の高い倉庫を改修して作った北一ホールには石油ランプを167個飾っていますが、毎朝、手で点灯しています。柔らかな光が癒やしの空間として観光客を惹きつけているようです。

運河の保存運動については、中立的な立場をとってきたと聞いています。倉庫など古い建造物の保存には積極的に関わってきました。

小樽駅に飾ってあるランプは、ガラスの街のお出迎えとして、役立てたいと寄贈したものです。
レトロで新しい

▼HPに「小樽の魅力を伝える使命」とありますが、小樽の魅力をどのようにお考えですか。
小樽は昔と今を兼ね備えた街、

古い建物を利用し、昔の良さを味わいながら、今の製品を見せる、そんな昔と今の融合をイメージしています。そして小樽のためになれば、というのが会社のモットーです。

心豊かな暮らしを

▼御社の経営方針「手作りの硝子によって心豊かな暮らしを提

供する」「国際文化の発展に貢献する」とは具体的にどんなことですか。
 社会奉仕を念頭に、手作りのガラス製品によって社会を豊かにすることを追求しています。ヴェネチア館では、世界のガラス、特に最高級のヴェネチアガラスを鑑賞できます。製品部門では和と洋の食卓に合うガラス製品をデザインしています。月見うさぎシリーズ、北海道の風景、切子など、多彩なデザイン、また高級製品（クリスタル館）からカジュアルなまでの幅広く品揃えています。さらに北



月見うさぎのグラス

海道の地酒を販売する店舗もあり、道内各地を回らなくてもここで手に入ると評判です。

コロナ禍にあっても

▼コロナ禍で経営に苦労されたと思いますが、一部の商品を通じて信販売されてきましたね。今後小樽で売ること重点を置くのでしょうか。
 コロナ禍は本当に大変でした。非常事態宣言を受けて、2ヶ月臨時休業しました。その後、店を開いても、通りには全く客が歩いていませんでした。そうした中で、通信販売を始めることになり、専門スタッフを雇い、準備しました。当社の顧客にはリピーターが多いので、軌道に乗りました。しかし、コロナ禍にあつて在庫を抱えるため、ガラス製品の生産をストップせざるを得ませんでした。経費削減しながら、少しでも赤字を減らす努力を重ねてきました。今年5月にコロナが5類になり、客



切子グラス

足も今年に入ってから、コロナ前と同じ位に戻ってきたところで、現在忙しくなっています。

小樽に来て買ってもらう

当社の製品は札幌にも千歳空港にも置いていません。小樽に来て買ってもらう、小樽の街並みの良さを知ってもらう、これからは小樽でないと買えない北一硝子、にこだわっていきます。

* * *

メディア、雑誌、広告などの広報を担当されている岡田さん、仕事のやりがいを感じる時は、「お客さまが北一硝子を目指して来てくれること、そして、「やっぱり来て良かった」と言ってもらえることですね」とおっしゃった。

取材を終えて

北一硝子の先見性と企業努力、地元小樽への愛に心を打たれました。



地酒屋北一、道内の地酒が手に入ると評判だ。

教育実習生紹介 (1)



子どもの可能性を広げる教員に
 北星学園大学 黒木碧衣先生(公民)
 社会福祉学部 福祉臨床学科

▼高校ではどんな生徒でしたか？

中高一貫コースだったので、お世話になった先生はたくさんいますが、一番は6年間担任だった後藤先生です。部活動は奉仕活動部と仏教研究部でした。活動を通して、自分から人のためになることをするという意識が持てるようになりました。

▼大学生生活の過ごし方は？

今はほぼ授業がないので、アルバイトをしています。アルバイトは高校一年生から続けているファストフード店と、大学一年生から始めた児童会館の先生をしています。

▼趣味・特技・好きなアーティストなどは。

趣味は料理、ドラマ・映画を見ること、歌うこと。好きなアーティストはSnow Man, SIXTONES, Backnumberなど。お勧めの映画は「ブレイブ」。高校生がタイムスリップして織田信長と戦い、友人をかばう所に感動した。

▼休日の過ごし方は。

車の運転が好きなので、友達や家族とドライブすることが多

▼なぜ、教育実習に来ましたか？

中高の免許取得予定ですが、将来は特別支援学校教諭になりたいと思っています。中学生の頃からボランティア等で障がいをもつ子どもたちと関わってきたので、子どもたちの可能性を広げるきっかけを与えられる教師を目指しています。

▼双葉高校生の印象は。

卒業してから何度か双葉高校に遊びに来たことがあります。その度に生徒のみなさんの「挨拶」は素晴らしいと思います。基本だと思いかもしれませんが、相手の目を見て、心を通わせる挨拶ができるのは素敵です。

▼生徒へのメッセージ

6年間双葉に通っていたので、当時の行事の様子や先生エピソードなど、大学の話だけでなく、双葉の卒業生だからそのお話を一人でも多くの生徒のみなさんに伝えられることを楽しみにしています。